

平成25年度事業報告

豊川市国際交流協会は、平成2年4月1日の設立以来、国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図ってきました。

平成24年4月からは、愛知県から公益認定を受け、公益財団法人として新たな一歩を踏み出すこととなりました。

こうした中、平成25年度は、引き続き国際理解を深めるための各種講座や交流会事業や、在住外国人の生活などを支援するための日本語教室、相談等の多文化共生社会づくりのための事業を実施しました。

また、豊川市とキュパティーノ市（アメリカ合衆国）との姉妹都市提携35周年にあたったため、市民使節団を派遣するとともに、キュパティーノ市の市民使節団との交流や市民に応募していただいた写真によるパネル展を実施しました。

今後も、ボランティアや関係団体の方々との連携を密にし、公益性を活かしながら時代に即した事業を展開して、外国人を含めた市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。

公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を深めました。

①オイスカ（O I S C A）中部日本研修センター青年研修生との交流会

日 時 平成25年5月17日（金） 午後6時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 39人（このうちオイスカ研修生6人、指導員2人）

内 容 日本の農業技術を習得するためにオイスカ中部日本研修センターに滞在している開発途上国の青年研修生6人と指導員2人を招き、ひまわり農業協同組合の協力を得て、カントリーエレベーターやトマト集出荷場を始め市内の農業施設を見学したのち、本協会の会員との交流会を行い、相互の友好と親善を図りました。

②ホームステイによる外国人研修生等との交流

期 日 平成25年9月6日（金）夕方から9月8日（日）夕方

参加留学生 2人

ホストファミリー 1家族

内 容 豊橋技術科学大学が実施した国際研修プログラムに参加したインドネシアの大学生のホームステイを受け入れ、交流と親睦を図りました。

③七夕交流会

日 時 平成25年7月6日(土) 午後1時30分から

場 所 市勤労福祉会館 第2会議室

参加者 46人(このうち外国人8人、子供14人)

内 容 日本の伝統行事七夕祭りにふれながら、日本人と外国籍の人との交流を図りました。子供が主な対象でしたが、大人の参加も多く、七夕飾りづくりや折り紙の金魚つり、ゆかたの試着などを行いました。

④お月見交流会(台風18号の接近に伴い中止)

日 時 平成25年9月15日(日) 午後7時から

場 所 市勤労福祉会館前 玄関スペース

⑤折り紙交流会

日 時 平成25年9月28日(土) 午後2時から

場 所 市勤労福祉会館 和室まつ

参加者 20人(このうち外国人13人、子供11人)

内 容 ラテンアメリカ部会が行っているペクラに参加している子供たちを対象に、折り紙数種と新聞でのかぶとづくりを通して、交流を図りました。

⑥ワールドフェスティバル2013

日 時 平成25年12月8日(日) 午後0時40分から

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

参加者 299人(このうち外国人90人、子供18人)

内 容 今回、「世界の演芸大会」を実施したところ、12組38人の参加があり、参加者が増加しました。

また、ラテンアメリカの歌と踊りの披露や世界各国のおやつを味わいながらの交流を通して、相互の親睦と国際理解を深めました。

⑦節分交流会

日 時 平成26年2月2日(日) 午後1時30分から

場 所 市勤労福祉会館 和室さつき

参加者 74人(このうち外国人9人、子供26人)

内 容 この地域に住む日本人や外国人に日本の文化の一つである節分の行事を、子供たちが楽しめるよう童話の絵本の読み聞かせにより紹介するとともに、三味線やオカリナの演奏に合わせた民謡や踊り、また豊川市諏訪地区のイメージキャラクターのすわポンを招いて、いっしょに豆まきなどをして、相互の交流と国際理解を深めました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるために、ゲームや野外活動を通して多国籍の外国人との交流を行い、相互理解を図りました。

①キッズワールド・サマースクール

日 時 平成25年7月14日（日） 午前8時30分から

場 所 鳳来寺山、旧鳳来寺高校、旧門谷小学校（新城市）

対象者 小学校4、5、6年生

参加者 60人（このうち外国人6人、子供37人）

内 容 子供たちの国際化への関心を深めるため、鳳来寺山へのハイキングやゲーム、木工体験などを通して外国人との交流を図りました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介等事業

地域の国際化に関心のある市民を、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、ボランティア活動の紹介を行いました。また、地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動の活性化に向けて支援しました。

①日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

②協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について話し合う意見交換会

毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。

開催回数 12回

③市民まつり「おいでん祭」での活動紹介

期 日 平成25年5月25日（土）～26日（日）

場 所 市野球場

内 容 ペルーなどのPR、協会事業のチラシ等の配布、南アメリカの食べ物や飲み物の販売、民族衣装の展示、試着、南アメリカの伝統的な踊

りと音楽演奏の披露（ステージ）などを行いました。

④外国人市民を始めとした市民や関係機関からの要請や問い合わせに対し、登録ボランティアの紹介

(2) 国際理解講座

人権、環境、多文化共生、平和など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会、演奏会を行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

①文化講座

どんな国シリーズとして、第1回目は豊川市在住のタイ出身の方を、第2回目はスペイン出身で豊橋在住の方を講師に招き、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

・第1回目 「タイってどんな国」

日 時 平成25年9月29日(日) 午後2時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 熊谷 パイラジットさん(タイ出身)

参加者 91人(このうち出演者23人)

内 容 タイの歴史や文化についての講話とタイ舞踊、ムエタイの実演を行いました。

・第2回目 「スペインってどんな国」

日 時 平成26年3月8日(土) 午後2時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 ダニエル サルボさん(スペイン出身)

参加者 81人

内 容 スペインの歴史や文化、生活習慣についての紹介のあと、フラメンコの実演を行いました。

②世界の料理教室

世界の食文化を理解するため、さまざまな国の料理の作り方を学んでいます。これまで、スリランカ、イタリア、スペイン、フランス、韓国、ロシア、日本、中国、タイ、シリア、ブルガリア、マレーシア、ベルギー、ブラジル、ナイジェリア、ペルーなどの料理について講習を受けました。

今年も2か国の家庭料理の作り方を学び、その国の食文化に接しながら国際理解を深めました。

・第1回目 「タイ家庭料理」

日 時 平成25年6月30日(日) 午前10時から午後1時

場 所 市勤労福祉会館 調理実習室
講 師 熊谷 パイラジットさん
参加者 38人
内 容 協会の部会員の協力のもとで、春雨のサラダ、鶏肉のスープ、タイカレー、バナナ羊羹などを作りました。

・第2回目 「スイス家庭料理」

日 時 平成26年3月16日(日) 午前10時から午後1時
場 所 市勤労福祉会館 調理実習室
講 師 片岡 早苗さん
参加者 41人
内 容 協会の部会員の協力のもとで、ラクレット(じゃがいもの溶かしチーズかけ)、エマンセ・アラ・チューリッヒノア(細切り肉のクリーム煮)、アイスクリームのラズベリーソースかけなどを作りました。

③外国籍の方のためのかんたん日本料理教室

日 時 平成25年11月17日(土) 午前10時から
場 所 市勤労福祉会館 調理実習室
講 師 協会の部会員
参加者 24人(このうち外国人15人)
内 容 ラテンアメリカ部会員やその家族といっしょに、丼もの、紅白なます、みそ汁をつくりました。

④国際理解講演会

日 時 平成25年6月23日(日) 午後2時から
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
講 師 大須賀 関雄 ケネスさん
参加者 51人
内 容 「日本の常識が海外で通用しない～知っておかないと失敗する文化の違い～」と題する講演会を開催して、日本や日本人の国際化に関する理解を深めました。

⑤第5回チェコの夕べ

愛・地球博で旧音羽町のフレンドシップ国であったチェコ共和国出身のソプラノ歌手による歌とピアノの演奏やチェコ民話の朗読の会を開催するとともに、チェコ部会の活動紹介を通して、チェコ共和国やその音楽に対して、理解を深めました。

日 時 平成25年7月26日(金) 午後6時30分開演

場 所 市音羽文化ホール
出 演 ズデンカ・メルヴォヴァーさん（チェコ共和国出身、ソプラノ）、
佐藤 GWAN 博さん（朗読）、中島 Masako 佐知さん（ピアノ）
入場者 240人

⑥日本語ボランティア養成講座

期 日 平成26年2月16日（日）、23日（日）、3月2日（日）
場 所 市音羽文化ホール 大会議室
講 師 本多 章義さん（豊川市こぎつね教室コーディネーター）
受講者 28人
内 容 主に日本語ボランティアに興味があったり、これから始めてみたい
と思っている人を対象に、日本語の教え方のポイントや「やさしい日
本語」での伝え方などについての講座を開催しました。

(3) 姉妹都市等の交流

海外へ青少年を派遣し、異文化体験や交流、相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材の育成を図りました。

また、豊川市とキュパティーノ市（アメリカ合衆国）との姉妹都市提携35周年にあたり、市民使節団を派遣するとともに、キュパティーノ市の市民使節団との交流会や市民から応募のあった写真によるパネル展を実施しました。

①高校生海外派遣事業

豊橋市国際交流協会との広域国際交流事業により豊橋市の姉妹都市であるアメリカ合衆国トリード市のトリード大学を会場にして毎年、夏季に開催される「トリード インターナショナル ユースアカデミー」（トリード国際姉妹都市協会が主催する青少年交流事業）に市内在住の高校生を派遣しました。

期 日 平成25年7月20日（土）～8月6日（火）（18日間）
訪問先 アメリカ合衆国オハイオ州トリード市
参加者 本市在住高校生4人（そのほか豊橋市在住の高校生6人と引率教諭1人）
内 容 英語での講義を受けたほか、各国青少年の文化交流及び相互理解を目的としたカリキュラムの授業への参加やホームステイ先での生活体験を通じ、次代を担う青少年の国際的視野を広め、世界の同世代の若者たちとの友好と親善を深めました。

②姉妹都市提携35周年記念キュパティーノ市親善使節団派遣

期 日 平成25年7月9日（火）～16日（火）（6泊8日）
訪問先 キュパティーノ市（アメリカ合衆国カリフォルニア州）
参加者 22人（市と協会関係者4人を含む。）

内 容 キュパティノー市役所訪問や周辺都市の施設の見学、ホームステイを含めたキュパティノー市民との交流などを行い、双方の友好と親善を深めました。

③キュパティノー市からの使節団とのバーベキュー交流パーティー

キュパティノー市からの市民使節団の訪問に際し、双方の市民どおしの友好関係を深めるため、協会のキュパティノー部会が中心となって、バーベキュー交流パーティーを開催しました。

日 時 平成25年11月12日(火) 午後1時から3時

場 所 市音羽運動公園キャンプ場

参加者 77人 (このうちキュパティノー市の使節団員19人)

内 容 キュパティノー市の使節団員と昼食をいっしょにとりながら歓談しました。

④キュパティノー市・豊川市姉妹都市提携35周年記念パネル展～のびる・ひろがる姉妹都市～

姉妹都市提携の翌年(1979年)にキュパティノー市から贈られたセコイアの木の特徴である「上にのびる、横にひろがる」ということを両市の交流に見立て、これまで姉妹都市交流に携わった市民から写真を募集してパネルにし、2回にわたって展示しました。

期間及び場所

・1回目 平成25年11月11日(月) 市民プラザロビー(プリオⅡ)
平成25年11月12日(火)～16日(土) 市勤労福祉会館ロビー

・2回目 平成26年2月21日(金)～28(金) 市民交流ホール(プリオ)

出展者 68人(応募写真130枚)

内 容 市民の皆さんからの写真に両市が贈った記念品や訪問の様子などの写真を加えて、164枚のパネルにして展示しました。

(4) 外国語講座

語学学習及び外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。料理でおいしいハンゲルは120分6回コース、中国語会話講座は90分15回コースで実施し、そのほかの講座は90分の12回コースで実施しました。

①英会話講座(定員各25人、英語ボランティアガイド入門は20人)

ア やさしい英会話

平成25年5月7日～7月30日(受講者18人)

イ 基礎英会話

平成25年5月13日～8月5日(受講者17人)

- ウ 英会話初級A
平成25年9月3日～11月19日（受講者18人）
- エ 英会話初級B
平成25年9月4日～11月20日（受講者17人）
- オ 楽しいディスカッション
平成25年12月10日～3月25日（受講者20人）
- カ 英語ボランティアガイド入門
平成25年12月10日～3月25日（受講者14人）

②韓国語会話講座

- ア 初めてのハングル（定員20人）
平成25年5月15日～7月30日（受講者10人）
- イ 料理でおいしいハングル（定員16人）
平成25年9月4日～11月20日（受講者15人）

③中国語会話講座（定員20人）

- ア 使える中国語1
平成25年8月22日～11月28日（受講者19人）
- イ 使える中国語2
平成25年12月5日～3月27日（受講者23人）

④スペイン語会話講座（定員20人）

- ・ やさしいスペイン語
平成26年1月8日～3月26日（受講者19人）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、充実した日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催するなど日本語習得の機会を提供し、文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進しました。

①日本語教室の開催

- ・ 夜クラス

日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、能力にあった日本語指導を行いました。

日 時 4月～3月の毎週土曜日 午後7時45分から午後9時まで
場 所 市勤労福祉会館 第1会議室ほか
受講者 延べ174人(34期(3月から7月)78人、35期(9月から2月)96人)
講 師 協会の部会員(34期34人、35期36人)
内 容 入門から上級まで、6クラスに編成して、1期5か月(概ね20回)で修了し、年2回開講しました。

・ひるまクラス

日本語を勉強したい人が多くの受講機会が得られるよう、前年度から引続いて午前中の教室を開講しました。

時 期 4月～3月の火曜日から木曜日 午前10時30分から12時まで
場 所 プリオビル5階
受講者 延べ20人(2期(3月から7月)13人、3期(9月から2月)7人)
講 師 協会のボランティア(2期12人、3期9人)
内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで行い、1期5か月(概ね20回)で修了し、年2回開講しました。

②ひらがなしんぶん発行事業

市内在住の外国人家族を対象に「ひらがな」で、日本の風俗習慣などを中心に、生活に関わる情報を提供し、日本人との円滑な交流ができるようにすることを目的として毎月1回発行し、保育園、幼稚園、小・中学校を通して配付しました。

発行回数 12回(毎月1回)

発行部数 630部/回

③豊川市日本語スピーチコンテスト(第4回)

豊川市に在住する日本語が母国語でない小学生以上の男女による日本語スピーチコンテストを開催し、日本での生活を通して考えたことや伝えたいことを発表することにより、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

日 時 平成25年11月3日(日) 午後1時30分から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

出場者 6人

・小、中学生の部 2人

協会会長賞 「僕にとっての強敵」 梅村 ウィリアン君(代田中3年)

・高校生以上一般の部 4人

協会会長賞 「日本で私が歩んできた道」 奇 耀文さん(通訳)

なお、小、中学生の部から2人、高校生以上一般の部から3人が東三河日本語

スピーチコンテスト（平成26年1月26日新城市富岡ふるさと会館で開催）へ出場し、本協会からは梅村 ウィリアン君と奇 耀文さん、朱 皓清さんが特別賞を受けました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるように母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを実施して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

①ポルトガル語、スペイン語、日本語教室の開催

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日（第4土曜日は日本語教室のみ）
の午後2時から午後5時まで、年間30回開講
場 所 主に市社会福祉会館（ウイズ豊川）
講 師 専門講師及び協会部会員
登録者 57人（小・中学生）
内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

②中学生以上の学習支援

日 時 4月～3月の毎週火、水、木、金、土曜日の午後7時から午後9時
まで、年間236回開講（※3月以降、火、木、金、土）
場 所 ボランティア市民活動センタープリオ（プリオ4階）
講 師 協会のボランティア
登録者 12人（中学3年生、高校生）
内 容 高校入学や在学のための学習指導を行いました。

③アトリエ

日 時 4月～3月の第1、2、3土曜日の午後6時から午後9時まで、
年間30回開催
場 所 主に市社会福祉会館（ウイズ豊川）
参加者 15人（小・中・高校生）
講 師 協会部会のボランティア
内 容 ラテンアメリカの民族舞踊を教えることで、子供たちに母国の文化の
の伝承と意識づけを図りました。

(3) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

①ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語による生活相談及び情報提供

・相談件数	90件
内訳	生活情報 17件
	労働問題 3件
	出入国関係 4件
	その他 66件

②おまわりさんと話す会

日時	平成25年11月30日（土）	午後4時から
場所	市勤労福祉会館	視聴覚室
参加者	32人（ラテンアメリカ部会のペクラ参加者及びその保護者など）	
内容	豊川警察署員から子供を取り巻く事件や多発する交通事故の現状についての講話を聞き、事件や事故に遭わないための方策などの指導を受けました。	

(4) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

①個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、英語、中国語、スペイン語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

①機関誌「We」の発行

発行回数	年4回（5月、8月、11月、2月）
発行部数	1,400部/回

(2) 広報とよかわ「インフォーマ」スペイン語・ポルトガル語版翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供しました。

①「インフォーマ」の翻訳

発行回数 年12回

発行部数 1,800部/回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

①ホームページでの情報提供

通年で、ホームページを活用して、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業をより多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう

市内及び近隣地域に在住する外国人と日本人が、日常生活の中で感じていることを本音で語り合う会「ざっくばらんに話そう」を開催し、外国人市民と日本人市民の相互理解を深め、外国人市民が安心して暮らしていけるよう何をすべきか検証し、今後、本協会が取り組んでいかなければならない事業の方向性を検討する機会としました。

①「ざっくばらんに話そう」(第4回)

日時 平成25年11月24日(日) 午後2時から

場所 市勤労福祉会館 第2会議室

参加者 29人

内容 関係者の情報提供や体験者の話を聞いたあと、子供の進学や勉強について、普段の生活の中で感じていることを話し合いました。

附属明細書

平成25年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。